

ロボット及び内視鏡手術映像を大画面スマートグラス※¹ 3D表示する

ヘッドバンド方式の

「スマートグラス※¹」

商品名「3D View Vision for Medical H・M・D※²」

型名 3D.V.V-HMD



FA システムエンジニアリング(株) (愛媛県松山市北藤原町1-26 社長中村康則) はロボット支援手術及び内視鏡手術の映像を大画面映像に表示する 3Dヘッドバンド方式でスマートグラスタイプのヘッド・マウント・ディスプレイ H・M・D 商品名「3D View Vision for Medical H・M・D」を5月末ごろ出荷開始します。

本機は頭部にヘッドバンド方式にて装着して使用するメガネタイプディスプレイです。画面サイズは2m先で57インチ高解像度3Dで表示しガラスパネルを使用しこの画像を見て自由な姿勢にて手術するというものです。有機ELパネルの特徴を活かし左目用と右目用の2枚のガラスパネル(片目1980×1080、両眼3840×1080)を搭載し3D映像を表示、3D映像の欠点と言われる目にストレスを感じるクロストークをなくしてより自然な立体視が観察出来るよう奥行き情報を表示 長時間手術にも目にストレスを感じないように出来ています。また目とレンズとの隙間から術野を目視出来る広い視野域としVR等のゴーグル方式とは異なり外部コミュニケーションが自由にできるようにしています。

従来より販売していたスマートグラスは 画角が小さくメガネフレーム方式では重たいという課題がありました。その3D画角を大きくし 重たいという欠点をメガネフレーム方式からヘッドバンド方式に 改善することによりドクターがより快適に手術できるようにした。

頭部額装着タイプにし ヘッドバンド含めた総重量は約260gにしたことにより自由な姿勢で手術ができ首への負担をなくすようにしました。またディスプレイ面下部より術野風景を大きく視野が見えるようにしている。ヘッドバンドからディスプレイ表示するメガネ 2D/3D 表示部とは3軸の視点調整用アームで頭部額取付部と目の視点調整を自由に調整することが出来ます。

映像の左右上下反転表示、2D/3D映像の切り替え、輝度調整等は通常のPC独自ソフトにて設定可能です。

[特徴]

1. 3D大画面画角で高精細映像で長時間手術に耐えられる
2. 軽いヘッドバンド方式で外部コミュニケーションが自由にできる
3. 左右の視差をなくしより自然で画質がきれいな3D映像
4. 遅延のないダイレクトなりリアルタイム表示で手術可能です
5. 視点調整が自由に調整可能です

[価格]：オープンプライス

[出荷時期]：2021年5月末頃

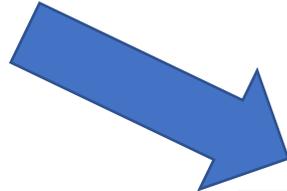


目視での
広い視野域

[参考写真]



**従来の
3D Smart GLASS (HMD)**



新製品 3D View Vision



新製品 3D View Vision 装着

[詳細仕様]

型式	3DV.V-HMD
解像度	片目:1980×1080 両眼 3840×1080
画面サイズ	2m先 57 インチ(視野角対角 40 度)
コントラスト	10.000:1
フレームレート	60Hz
入力ケーブル	Type C / HDMI
3D モード	Side by Side
外形寸法	メガネ部 124×42×30mm ヘッドバンド方式
重量	ヘッドバンド含 約 260g



※1:スマートグラスとは、メガネのような形状で眼鏡と同様に目の周辺に装着して使用するウェアラブルデバイスの1つ

※2:HMD(ヘッドマウントディスプレイ)とは、Head Mounted Display の略で左右の目の視差を用いた立体映像による VR(仮想現実)表示装置の総称